

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515085(P2000-515085A)

【公表日】平成12年11月14日(2000.11.14)

【出願番号】特願平10-507589

【国際特許分類第7版】

B 2 9 C 39/02

B 2 9 C 39/24

C 0 8 F 2/44

G 0 2 C 7/04

// G 0 2 B 1/10

B 2 9 L 11:00

【F I】

B 2 9 C 39/02

B 2 9 C 39/24

C 0 8 F 2/44

G 0 2 C 7/04

G 0 2 B 1/10

Z

B 2 9 L 11:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月27日(2004.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年7月27日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第507589号

2. 補正をする者

名 称 ノバルティス アクチエンゲゼルシャフト

3. 代 理 人

住 所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-12 SVAX TS ビル

氏 名 弁理士 (7866) 津 国 肇

電話 (3502) 7212

式
査
審

4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容 別紙のとおり



(別紙)

請求の範囲

1. 染色されたポリマー製品を形成する方法であって、
 - (a) 少なくとも2, 0 0 0の重量平均分子量を有するポリマー染料を用意する工程；
 - (b) 少なくとも2, 0 0 0の重量平均分子量を有する重合性または架橋性物質を用意する工程；
 - (c) 前記ポリマー染料および前記重合性または架橋性物質を、型に導入する工程；ならびに
 - (d) 架橋または重合を開始して、固体ポリマー製品を形成する工程を含むことを特徴とする方法。
2. ポリマー染料を用意する前記工程が、
 - (i) 反応性ポリマー染料前駆体を用意する工程；
 - (ii) 活性化された反応性染料を用意する工程；および
 - (iii) 前記の反応性ポリマー染料前駆体を、前記の活性化された反応性染料と混合し、それにより、反応を起こさせ、ポリマー染料を形成する工程を含む、請求項1記載の方法。
3. ポリマー染料を用意する前記工程が、
 - (i) 架橋剤をポリマー染料前駆体に添加して、反応性基を有するポリマー染料前駆体を形成することによって、反応性ポリマー染料前駆体を用意する工程；
 - (ii) 反応性染料溶液の pH を塩基レベルまで高めることによって、活性化された反応性染料を用意する工程；および
 - (iii) 前記の反応性ポリマー染料前駆体を、前記の活性化された反応性染料と混合し、それにより、反応を起こさせ、ポリマー染料を形成する工程を含む、請求項1または2記載の方法。
4. 反応性染料が、紫外線吸収剤および可視光線吸収剤からなる群より選ばれる、請求項2または3記載の方法。
5. 反応性染料が、ビニルスルホンである、請求項2～4のいずれか1項記載の方法。

6. ポリマー製品が、コンタクトレンズである、請求項1～5のいずれか1項記載の方法。

7. ポリマー染料前駆体が、ポリ（ビニルアルコール）であり、そして重合性または架橋性物質が、ポリ（ビニルアルコール）である、請求項2～6のいずれか1項記載の方法。

8. 重合性または架橋性物質およびポリマー染料を精製する工程をさらに含み、両方の精製工程が、少なくとも1回の限外ろ過工程を含む、請求項1～7のいずれか1項記載の方法。

9. ポリマー染料の重量百分率が、脱水されたポリマー製品の総重量を基準にして、0.001～2%である、請求項1～8のいずれか1項記載の方法。

10. 重合または架橋を5分未満の期間実施する、請求項1～9のいずれか1項記載の方法。

11. 請求項1記載の色付きコンタクトレンズを形成する方法であって、

（a）少なくとも2,000の重量平均分子量を有するポリマー染料前駆体の第一の水溶液を用意する工程；

（b）可視光線吸収剤および紫外線吸収剤からなる群より選ばれる反応性染料を、第一のポリマー前駆体溶液に添加し、それにより、ポリマー染料を形成する工程；

（c）少なくとも2,000の重量平均分子量を有する架橋性ポリマー前駆体の第二の水溶液を用意する工程；

（d）ポリマー染料を、架橋性ポリマー前駆体溶液と混合する工程；

（e）混合物をコンタクトレンズ型に導入する工程；ならびに

（f）架橋性ポリマー前駆体を架橋させて、色付きコンタクトレンズを形成する工程を含む方法。

12. 架橋性ポリマー前駆体が、ポリ（ビニルアルコール）である、請求項11記載の方法。

13. （a）少なくとも2,000の重量平均分子量を有するポリマー染料；および

(b) 少なくとも2,000の重量平均分子量を有する重合性または架橋性のポリマー前駆体

の架橋または重合生成物であって、前記のポリマー前駆体から生成した重合または架橋ポリマーが、前記のポリマー染料を物理的に封じ込めた、染色されたポリマー製品。

14. ポリマー製品が、コンタクトレンズである、請求項13記載の製品。

15. 重合性または架橋性ポリマー前駆体が、10,000～50,000の重量平均分子量を有する、請求項13または14記載の製品。

16. 重合性または架橋性ポリマー前駆体が、ポリ（ビニルアルコール）である、請求項13～15のいずれか1項記載の製品。